

国立循環器病研究センター ホームページ 掲載予定原稿

「JROAD-DPC による非動脈硬化性心筋梗塞の実態解明と二次調査研究」
につきまして

(研究責任者：国立循環器病研究センター 心臓血管内科 片岡 有)

全国的に循環器診療の実態調査を展開して診療実態を具体的な数で把握するための日本循環器学会が実施するデータベースを利用して「JROAD-DPC(循環器疾患診療実態調査)による非動脈硬化性心筋梗塞の実態解明と二次調査研究」を行っています。

[対象となる方]

日本循環器学会に協力する全国の循環器内科を標榜する施設に 2012 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日に入院された非動脈硬化性心筋梗塞ならびに動脈硬化性心筋梗塞の患者様です。

[研究期間] 倫理委員会承認日～2030 年 12 月 31 日

[研究の背景]

急性心筋梗塞は、心臓の表面に存在する冠動脈の閉塞により発症します。その原因として、高血圧、喫煙、コレステロール、糖尿病、肥満などの因子が動脈硬化を引き起こして心筋梗塞発症に関与すると考えられています。しかしながら、一部の急性心筋梗塞の患者様においては、これらの因子以外が原因となり発症する場合があります。私たちが行なってきた研究から、冠動脈の解離・拡張や、冠動脈以外に存在する血栓(血液の塊)等が冠動脈内に移動して閉塞させる機序が、急性心筋梗塞を引き起こすことを報告しています。しかしながら、これらの動脈硬化とは異なる機序が関与する急性心筋梗塞の患者様の特徴や予後等は、まだ不明な点が多いのが現状です。その詳細な解析により、動脈硬化とは異なる機序が関与する急性心筋梗塞の患者様に対する有効な治療法の確立にもつながることが期待されます。

[研究の方法]

この研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を守り、倫理委員会の承認のもとに実施されます。使用する情報には個人識別情報を含めず、さらに、情報の収集、蓄積に用いるシステムの厳格な管理、運用、目的を限定した情報の取り扱いにより、患者様に与える情報リスクの極小化に努めます。研究結果は

個人が特定できない形式として学会等で発表されます。収集する項目は、性別・入院時年齢、入院時診断名・入院時併存症病名・入院後合併症病名とそれらのICD-10コード、手術処置名、実施日、使用された薬剤・医療材料、在院日数、退院時転帰、費用などの情報です。さらに詳細な項目内容についてご質問があれば、下記までご連絡ください。

[データの管理]

収集したデータは国立循環器病研究センター 循環器病統合情報センターにて厳重な管理のもと保存されます。ご不明な点があれば、下記までお尋ねください。

[問い合わせ先]

研究責任者 国立循環器病研究センター 心臓血管内科 片岡 有

研究に関する問合せ先：国立循環器病研究センター 心臓血管内科 片岡 有

〒564-8565 大阪府吹田市岸部新町 6-1

TEL:06-6170-1070 (内線:60189) E-mail:yu.kataoka@ncvc.go.jp

情報の公開 URL <http://www.ncvc.go.jp/research/clinical-research/>

